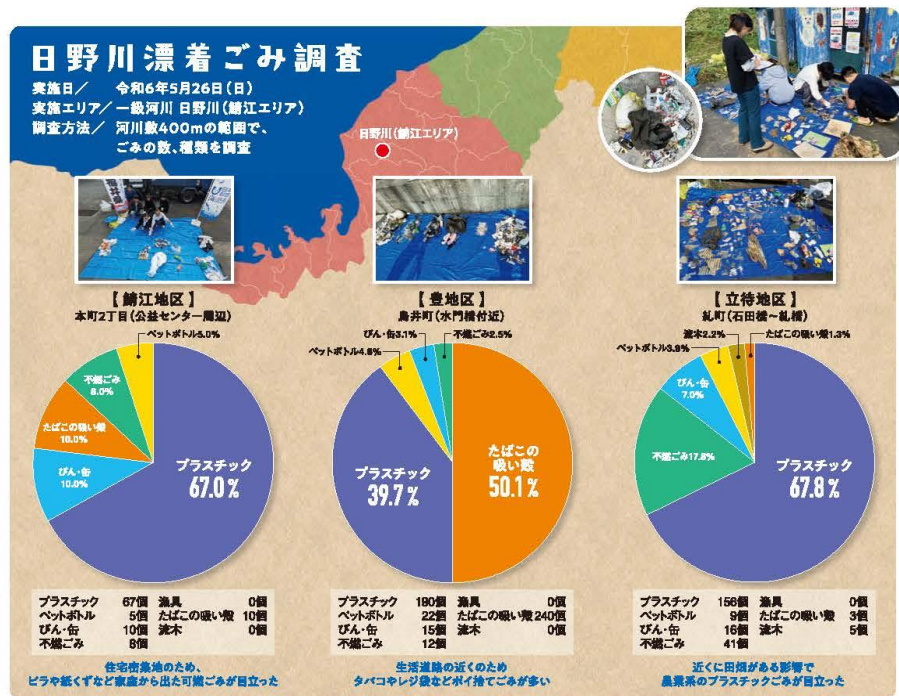




海洋ごみを調べてみよう!

「ビーチコーミング」に挑戦しよう!!

ビーチコーミングとは、海洋ごみを観察したり、収集したりするアクティビティのことです。海岸やビーチには、貝殻や流木、ガラス片、海外から流れ着くごみなど、毎日様々なものが漂着しています。

ビーチコーミングの服装

- 帽子
- 作業用手袋
- リュック
- タオル
- 運動靴

用意するもの

- ◎作業用手袋 ◎運動靴(冬場は長靴)
- ◎袋や入れ物 ◎防寒着
- ◎夏場は、帽子や飲み物も!

【注意】

- ・注射器、釘、割れたガラスや、クラゲなどの害をもつ生き物には、触らない!
- ・子どもだけで行かない!
- ・滑りやすい岩場や、かぶれや虫さされの恐れがある箇所などは近づかない!

未来の海のために 今できることを

私たちの海を守るために。
 知っておきたい、海洋ごみ問題。

海を漂うプラスチックごみに
 触ってしまったウミガメ

そもそも海洋ごみはどこからやってくるのでしょうか。
 実は、海の近くだけではなく、遠い街で捨てられたごみが雨や風で川に流れ込み、
 海に運ばれてくることも多いのです。
 海洋ごみの7～8割は「陸」からのごみとされています。

南紀和歌山ビーチ(高浜町)に
 打ちあげられたごみ

いろいろある海洋ごみの種類

漂着ごみ	漂流ごみ	海底ごみ
海岸に打ち上げられたごみ。 川を伝って海に流れ込んだごみや漂流ごみは、 木や海藻とともに海岸に流れ着いて打ち上げられます。	水面や水中に浮遊しているごみ。 風や海流、潮流によって遠くまで運ばれる こともあります。	海底に沈んでしまったごみ。 缶やペットボトルだけではなく、 大きな機械の部品なども沈んでいます。

みんなで考えよう、 海洋ごみのこと。

「海流」と「季節風」によって やってくるごみ

福井県沖は、暖流の「対馬海流」と寒流の「リマン海流」がぶつかる海域で、暖流と寒流に生息する両方の魚が集まる日本でも有数の漁場です。

しかし、この2つの海流は魚だけではなく、
海洋ごみも運んで来てしまいます。

【夏】外国からの海洋ごみの漂着は少なく、近場からのものが多い
【冬】大陸から吹く季節風の影響で、外国からの海洋ごみが増える



川から海に 流れ込むものが多い

海洋ごみは、海の近くだけではなく

遠い街で捨てられたごみが、雨や風で川に流れ込み、
海に運ばれてくることも多いのです。

九頭竜川の河口のサンセットビーチなどには街ごみが多いと言われています。

日本のごみがハワイまで!?

海外から日本に流れ着く海洋ごみがある一方、日本の海洋ごみも海外へ漂着しています。それは遠くハワイ諸島まで――。

日本などアジアからのプラスチックごみは、黒潮・北太平洋海流の影響で、カルフォルニアとハワイの間にある「太平洋ベルト」に集まると言われています。

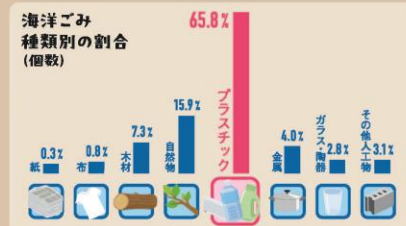


海洋ごみって どんな影響があるの?

特に問題となっている「プラスチックごみ」

海洋ごみにはさまざまな種類がありますが、特に問題とされているのが「プラスチックごみ」です。

海洋ごみの半分以上を占めるプラスチックごみは、自然の力では完全に分解されにくいため、海の中を浮遊し続け、いつまでもごみのまま中には400年以上、海の中を漂うものもあると言われています。



環境省「海洋ごみをめぐる最近の動向(2018)」より



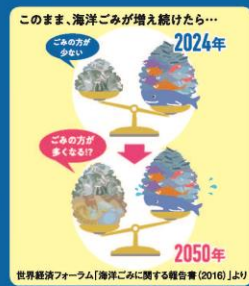
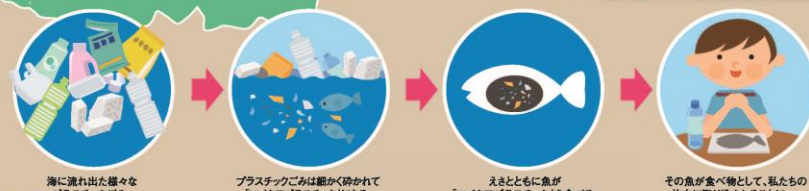
「マイクロプラスチック」は人体にも悪影響!?

海に流れ出したプラスチックごみは時間がたつと、砕けて目に見えないほど細かくなります。

5ミリ以下に小さくなったものを「マイクロプラスチック」と言い、海の生き物はえさと間違えたり、えきとともに食べてしまいます。

こうしてプラスチックごみを食べたことで海の生き物が死んでしまった事例が、すでに世界中で報告されています。

また、具体的な影響こそまだ明らかにされていませんが、マイクロプラスチックを食べた魚を食べるのは私たちであることから、その悪影響も懸念されています。



● 海でよく見るごみは?

.....

.....

.....

● どうすれば海洋ごみを減らせる?

.....

.....

.....